

## B-1 指導法の工夫

### 「活用力」向上プラン

＜布水中学校社会科部会＞

| 生徒の「活用力」向上をめざすために社会科として育てたい生徒の姿                       | 支援（具体的な方策）   |
|---|--|
| 学習した基礎的・基本的な知識や技能を活用（思考・判断・表現）しながら、意欲的に課題を解決しようとする生徒。 | <ul style="list-style-type: none"><li>・写真や統計資料などを有効に活用する。</li><li>・“資料からの正確な情報を読み取り”、“読み取った情報をもとに思考・判断”、“思考・判断した内容の表現”を段階に応じて、継続して学習内容に取り入れる。</li><li>・反復学習を通して、基礎的・基本的知識、技能の定着を図る。</li><li>・グループ活動等を積極的に導入し、生徒同士の学び合いの場を多く設定する。</li></ul> |

### 校内研究組織の学びの共同体分科会として「活用・応用をはかる」方法

#### ○「個人→グループ→個人」の流れを意識した授業展開

資料から情報を読み取る課題、多面的・多角的思考を問う課題などでは、グループ活動を授業の中で取り入れる。特に、多面的・多角的思考を問う課題では、「個人で学習する場面→グループでの学び合いの場面→個人で深める場面→全体での学び合いの場面」という授業展開を意識して行っていく。

#### ○話し合いの形態の工夫

2人・4人・6人（生活班）・一斉相談タイム（クラスメートとフリーで相談）・同じ考え方のもの同士グループを作る等、場面・状況に応じた話し合いの形態を工夫する。

#### ○さまざまな表現方法の導入（口頭発表・新聞・黒板掲示など）

- ・学習成果であるレポートや新聞などの掲示。
- ・口頭発表での表現。
- ・年表などの資料作成。
- ・発表ボードの活用。

#### ○評価表の導入（自己評価・他者評価）

- ・挙手発言を教師が評価する。
- ・自己評価…毎時間、学習活動を学びの足跡カードに自分自身で記録させる。
- ・相互評価…発表会時には仲間の発表を評価させる。